

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	食生活改善事業		担当部署	健康福祉部 健康政策課	
総合計画体系			根拠法令計画など	食育基本法、健康増進法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 ▼ 17 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと			終期
(小項目)		保健・医療			
施策	7	健康・医療対策の推進			
基本事業	1	健康増進計画「健康なんと21」の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民等						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	食生活改善推進員(ヘルスマイト)との協働により、食習慣の改善等を図る。また、食生活改善推進員(ヘルスマイト)の養成・レベルアップを図る。						
事業計画	27年度に何を計画していたか	ヘルスマイトの養成講座を実施する。現在実際に活動できるヘルスマイトの人数が減少してきたこと、地域的に偏りがあること、平成24年度からヘルスマイトとして男性の活動が可能となったことなどを踏まえて、新たにヘルスマイトの養成を行う。また、ヘルスマイトの活動については、継続して支援を行う。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		ヘルスマイトの人数	30	30	30	30	30	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	生活習慣の改善や食育の推進を図るため、地域での食育を推進するヘルスマイトの養成講座を実施し、男性2名を含む10名の新規会員を養成した。また、ヘルスマイトの活動を支援するとともに、地域で子育てをサポートする団体等、新たな対象者への食育推進を図った。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	ヘルスマイトの地域での活動回数	11	13	10	10	10	回
	2	ヘルスマイトの人数	32	33	30	30	30	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	ヘルスマイトの人数		32	33	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			110.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	当初予算額	0	0	0	20	139	159
		全体予算額	0	0	0	20	139	159
		決算額	0	0	0	11	132	143
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)		総人件費		総事業費
		0.7	0.0		4,801		4,944	

【事務事業名:食生活改善事業】
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	113	143	149	149	149
	うち一般財源	93	132	129	129	129
	人件費	4,815	4,801	4,801	4,801	4,801
	総事業費	4,928	4,944	4,950	4,950	4,950

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		ヘルスマイトの活動は、幼児から高齢者まで幅広い年齢層に実施されており、特に幼児とその保護者への食育教室の回数は増えていることから、食育の推進という点において有効性が高いと考える。
	効率性	B:概ね効率的だった		スキルの差から一部偏りはあるものの、事業の実施時期や地域毎に、担当するヘルスマイトを分け、なるべく一人一人の負担が少ない状態での活動につながっている。
②成果に対する評価	指標名	ヘルスマイトの人数		平成27年度の実際の活動会員数は27名と目標に達していなかったが、養成講座を実施した結果、目標人数を達成することができた。
	目標	30	人	
	実績	33	人	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		ヘルスマイトの活動回数、目標人数ともに達成できていることに加え、平成27年度は新たな地域、団体への食育推進を行ったことからA評価とした。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	ヘルスマイトの育成にあたっては、会員の情報伝達の能力に差があること等を踏まえて、会員一人ひとりの知識、能力の向上を図る必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	ヘルスマイトが講座を実施する際に、講義を行える会員数が限られており、一部の会員の負担が多くなっている。そのことから、会員全体のスキルアップを図り、一部会員への負担を軽減すると共に、活動回数等の増加を目指すために、スキルアップ講座を実施する。			
	平成29年度	さらなるスキルアップ研修に取り組むとともに、会員の自主性を高め、活動の回数、範囲を拡大していけるように支援する。			